

褥瘡発生率

指標の説明

褥瘡（じょくそう）発生率は、入院中の患者さんに褥瘡が発生した割合を表す指標です。褥瘡とは、いわゆる「床ずれ」のことです。寝たきりの方だけでなく、脆弱な皮膚の方や栄養低下も発生の一因です。褥瘡が併発することで、患者さんのQOL（生活の質）が低下し、治療が長引くこともあり、この結果、医療費増大、在院日数の長期化にもつながります。このため、褥瘡予防対策は、療養の質の重要な評価指標とされています。当院では、医師・看護師・薬剤師・栄養士・療法士・医療ソーシャルワーカーなどで構成する専門の褥瘡対策チームが、多角的な観点から患者さんの状態を評価し、必要に応じた予防対策を行います。また褥瘡発生時には、早期治癒と再発予防に取り組んでいます。

指標の算出式

分子 新規院内発生患者数

分母 在院患者数

指標の種類と値の解釈

アウトカム

目標値

1.15%

グラフ

